

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 誘致競技におけるレベルアップ 県民の国際交流機会の増加

指標	指標名	国体における天皇杯得点							指標の種類
	指標式	実績÷目標							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a			775	850	900	950	1,000	
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	「国民体育大会成績」（日本体育協会）							

把握する時期 当該年度中 10月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名	国体少年種目別得点							指標の種類
	指標式	実績÷目標							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a			159	180	200	220	240	
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	「国民体育大会成績」（日本体育協会）							

把握する時期 当該年度中 10月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
世界のトップアスリートを目の当たりにする機会を増加し、県内スポーツの競技力向上を図るとともに、外国選手団の受入により観光産業における経済効果と受入態勢のレベルアップが図られる。

住民ニーズに照らした事業の必要性
地域が一体となった誘致促進により、県民がスポーツを通じて共通話題を持つとともに、交流人口の増加など地域活性化につながる。

事業の県関与の必要性
法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

スポーツ選手団の誘致については、県が窓口として情報の集約化を図り、市町村や各競技団体と連携して推進する方が効率的・効果的である。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 その他